

**平成27年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第一小学校長

平成27年4月21日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数と理科の3教科の実施となりました。また、理科は4年に一度の実施であり、本年度実施いたしました。

国語と算数の2教科については主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

理科は、主として「知識」に関する問題、主として「活用」に関する問題を一体的に問う問題を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であるとともに、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	70.0%					○
国語B	65.4%					○
算数A	75.2%		○			
算数B	45.0%		○			
理科	60.8%					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	53.0%	○				
書くこと	86.0%	○				
読むこと	55.2%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.2%					○

【考 察】

- 相手の話を聞く時に、話の目的や意図をとらえながら内容を十分に聞き取ることに課題がありました。話を聞く際は、ポイントを絞り、自分の考えと比較して聞いたり、メモを取りながら整理して聞いたりする学習を繰り返し経験し、聞き方が確かに身に付くように指導していきます。
- 伝えたいことを相手に説明するために、具体的な事例を使って説明する文を書くことが課題です。分かりやすく説明するために、「例えば～」や「例を挙げると～」などの表現を用いて書くことができるように指導していきます。
- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえることなどが理解できているのは、授業での学び合いの成果だと考えます。今後も工夫して指導していきます。
- 漢字の読み書きでは、正答率が高いものとそうでないものがありました。漢字の学習の仕方を工夫して、確実な定着を目指していきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
書くこと	61.1%					○
読むこと	68.1%					○

【考 察】

- 聞き取った話をもとに、文章の書き方や構成を工夫したり、必要な内容を整理して書いたりすることはよく理解できていました。文章構成についての学習や書くことに関する内容の整理の仕方の学習、400字作文などの短作文に取り組んでいることなどを指導している成果であると考えます。
- 場面の移り変わりに注意し、登場人物の行動や気持ちの変化について想像しながら読むことがよく理解されてきました。文章の内容を丁寧に読み取る学習を継続して行い、考えを広げたり深めたりしてきた成果であると考えます。

【算数A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	80.1%					○
量と測定	71.3%				○	
図形	64.5%	○				
数量関係	84.9%	○				

【考察】

- 基本的な四則計算はとてもよく理解しています。今後も計算能力を高められるように、授業や白一タイム（定着の時間）と、家庭学習の内容が連動していくように指導をしていきます。
- 角の大きさを測定することはよく理解しています。一方で、日常生活の中で必要となる時刻を求めることに課題がありました。具体的な場面を想定しながら、時間の経過の様子を線分図などを用いて視覚的にとらえるなど、日常の事象と算数の学習を結び付ける授業を工夫していきます。
- 円と三角形を組み合わせた図形や立体図形の展開図などの問題で課題がありました。図形の性質を理解できるように繰り返し問題を解いたり、見取図や展開図を作図したりできるように授業内容を工夫していきます。
- 数量の関係を式や図と関連付けて考えることはよく理解できていました。棒グラフや表を関連させて読み取ることに課題がありました。これからも実際にグラフや表に表す活動を十分にとり入れていきます。

【算数B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	42.4%					○
量と測定	41.7%	○				
図形	45.6%		○			
数量関係	43.0%	○				

【考察】

- 四則計算のきまりはとてもよく理解しているので、今後も、身に付けた計算能力を生活や学習に活用できるよう、授業や白一タイム（定着の時間）と、家庭学習の内容が連動していくように指導を工夫していきます。
- 買い物の場面を想定し、数量の大小を比較する問題で課題がありました。授業で1個分の値段を求めたり、代金を計算したりする方法を定着させていきます。また、どの方法がより能率的か選べるように、考え方の比較や多様な見方ができるように工夫していきます。
- 平行四辺形の特徴はよく理解していました。一方、図形の作図や図形の性質をもとに解決の理由を書く問題に課題がありました。授業の中で、自分の考えをノートにまとめる、筋道を立てて説明するなど活動をさらに充実させます。
- 割合の問題で課題がありました。割合は、日常生活において20%増量、30%値引きなど様々な場面で用いられています。授業では、図や数直線に表すことで、基にする量、比べられる量、割合の関係が正しくとらえられるように工夫して指導していきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

内 容	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
物 質	57.4%		○			
エネルギー	65.6%					○
生 命	61.2%					○
地 球	57.8%				○	

【考 察】

- 水蒸気の状態の説明や水の温まり方の実験の見通しを持つことは、よく理解できていました。一方、実験器具の名称や扱い方の問題、実験の考察の仕方では課題が見られました。実験の計画の際に器具の名称を使って話し合ったり、説明したりするような学習活動や予想と実験結果を照らし合わせて考えをまとめる活動を充実させていきます。
- 条件を整理して実験方法を考えたり、学習して獲得した知識と身の回りの事物や現象とを関連付けてとらえたりする問題がよく理解できていました。少人数での実験の場を確保し、実験の仕方の工夫を考えさせてきた成果です。今後も継続していきます。
- メダカの雌雄を見分ける方法や生物の成長に必要な養分の取り方が、よく理解できていました。実際に飼育したり栽培したりして、観察する機会と場を設けてきた成果と考えます。さらに、継続した観察ができるように指導していきます。
- 1日の月の動きや形について、よく理解できていました。適切な観察とビデオや写真の活用の成果だと考えます。知識を生かして日常生活に活用できるか問う問題に課題が見られました。観察記録、実験データだけで単に分析するのではなく、全体の傾向を読み取るなどの視点から、自然の事物や現象を関連付けながら考察したり、言葉でまとめて説明したりするような学習活動を充実させていきます。

平成27年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第一小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組やゲームなどへのかかわりなど家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思っております。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	白一小	3.1	9.4	45.3	26.6	9.4	6.3
6	全 国	11.1	14.6	37.0	25.1	9.1	3.0

(単位 %)

【考 察】

- 学習時間が1時間未満の約40%の児童に対して、具体的な学習方法を例示したり、課題の与え方を工夫したりして、学習の習慣化を図っていきます。
- 学習時間が1時間以上の児童には、よい学習内容を互いに紹介し合うなどにより、自主的な学習の質が向上するように働きかけていきます。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
小	白一小	32.8	32.8	23.4	10.9
6	全 国	27.4	35.4	28.1	9.1

(単位 %)

【考 察】

- 「している」「どちらかといえればしている」と答えた児童の割合は、昨年度よりも増加傾向にありますので、自主的な学習に対する意欲は向上していると判断できます。「家庭学習のてびき」を効果的に活用できたものと思われま。
- 「家庭学習のてびき」を参考に、自主学習の内容について確認し、さらに計画的な家庭学習にすることができるよう働きかけていきます。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小 6	白一小	6.3	6.3	21.9	25.0	14.1	26.6
	全国	7.5	10.1	20.1	26.5	15.8	19.9

(単位 %)

【考 察】

- 「10分未満」「全くしない」と答えた児童が約4割いることから、国語科で学習する教材文と関連のある本を紹介するなどの活動を通して、本に対する興味を持たせていきます。
- ノーメディアデーの取組とも関連させながら、家庭での時間の使い方を見直していくことで、読書の時間が確保できるよう、学年通信等で呼びかけていきます。

4 普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。

		4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全くしない
小 6	白一小	3.1	6.3	9.4	28.1	46.9	6.3
	全国	9.1	7.9	13.2	24.4	31.6	13.7

(単位 %)

【考 察】

- 2時間以上ゲームをしている児童の割合は、全国と比べて少ない傾向にあり、ノーメディアデーへの取組が定着してきていることがその一因と考えられます。
- ゲームの時間は、家庭学習や読書の時間との関連性があると思われます。ゲームの時間を家庭学習や読書の時間にかえられるように、今後もノーメディアデーの取組などを通して家庭と連携していきます。

5 朝食を毎日食べていますか。

		食べている	どちらかといえ ば食べている	あまり食べて いない	食べていない
小 6	白一小	89.1	9.4	1.6	0.0
	全国	87.6	8.0	3.4	0.9

(単位 %)

【考 察】

- 朝食を毎日食べていると答えた児童は約9割で、概ね良好な状態であると判断できます。
- 「家庭学習ノート」への記入や「朝食摂取調べ」などで児童の現状を把握しながら、朝食摂取率が100%に近づくように呼びかけていきます。

6 家の人（兄弟姉妹以外）と学校の出来事について話をしますか

		話している	どちらかといえば話している	あまり話していない	話していない
小	白一小	50.0	31.3	12.5	6.3
6	全国	53.2	26.3	15.9	4.5

(単位 %)

【考 察】

- 「話している」「どちらかといえば話している」という児童が8割を超えており、学年通信等での話題提供が効果的だったと考えられます。
- 「話していない」と答えた児童が全国よりもやや多いので、家の人との会話が増えるように、今後も学年懇談会や学年通信等で話題提供に努めていきます。

7 普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。

		4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	携帯電話やスマートフォンを持っていない
小	白一小	3.1	0.0	4.7	15.6	17.2	25.0	34.4
6	全国	3.1	2.6	4.1	7.1	11.1	30.0	42.0

(単位 %)

【考 察】

- 携帯電話やスマートフォンの利用率は、全国よりも高くなっているため、情報教育を確実にやり、トラブル防止に努めていきます。
- ノーメディアデーの取組や学校と家庭との情報交換によって、利用のルール確立とトラブル防止に努めていきます。

8 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

		している	どちらかといえば、している	あまりしていない	全くしていない
小	白一小	46.9	29.7	15.6	7.8
6	全国	39.2	40.3	16.6	3.9

(単位 %)

【考 察】

- およそ半数の児童が毎日同じくらいの時刻に寝ていると答えており、全国よりも高い割合です。「家庭学習・生活ノート」を効果的に活用できていると考えられます。
- 「家庭学習・生活ノート」を活用し、児童の様子を把握したり、保護者への啓発に努めたりすることで、さらに規則正しい生活への意識を高めていきます。

9 将来の夢や目標を持っていますか

		当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかとい えば、当ては まらない	当てはまらない
小	白一小	82.8	14.1	0.0	3.1
6	全 国	70.5	16.0	7.5	5.9

(単位 %)

【考 察】

- 「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童の割合が高く、道徳や学級活動の時間に、将来に対する夢や目標を持てるように取り組んできたことが、効果があったと考えられるので、継続して工夫していきます。
- 学校行事への積極的な取組や総合的な学習の時間などでのキャリア教育を通して、夢や目標を持つ大切さを実感させていきます。

10 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。

		だいたい週に 4回以上行く	週に1～3回程 度行く	月に1～3回 程度行く	年に数回程度 行く	ほとんど、 または、全 く行かない
小	白一小	4.7	9.4	37.5	17.2	31.3
6	全 国	3.4	14.2	23.1	28.4	30.7

(単位 %)

【考 察】

- 月に1回以上図書室や市立図書館に行くという児童の割合は全国よりも高い一方で、年に数回程度以下の児童も約半数見られます。利用率の向上を図るために、図書を充実させたり、読書の機会を意図的に設けたりしていきます。
- 図書室を利用できる時間を確保するとともに、国語科や社会科などの学習で図書室を利用する機会を増やしていくことで、利用促進に努めていきます。